



伊勢崎興陽高等学校職場体験 ～自衛隊イメージアップへの第一歩～

2等陸曹 武井 健司



職業ガイダンス



防災講話



制服試着



体験喫食



AEDの使用実習



止血法の実習



自衛隊 VS 綱引き (生徒会考案企画)

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所(所長 2等陸尉 土屋 章)は令和7年12月9日(火)、陸上自衛隊新町駐屯地において第12後方支援隊の支援を受け、群馬県立伊勢崎興陽高等学校1学年の生徒30名と教諭2名に対して自衛隊職場体験を行いました。

職場体験では、まず所長による職業ガイダンスで「自衛官」という職業について知ってもらいました。処遇改善による給与・手当等の引き上げ、生活・勤務環境の改善について説明したほか、所長考案の自衛隊クイズでは初めて聞く内容のため生徒達から感嘆の声が上がりました。

防災講話では、先程の楽しい雰囲気とは一変し、被災時に命を守るため一人一人が自分に出来ることは何かを考え、真剣な眼差しで講話に傾聴している姿は印象的でした。

お昼の体験喫食では「すごく美味しかったです!」との感想とともに、全員が時間内に完食して、美味しさと栄養バランスを兼ね備えた隊員食堂のレベルの高さを実感していただきました。

午後の実習では学校から要望のあった「AEDの取り扱い」及び止血帯を使用した「圧迫止血法」の実習を行いました。

また、同校2学年の生徒が昨年度の探求の時間「企業が抱える問題を解決しよう」と題した授業課題において、生徒達が考案した「自衛隊のイメージを高めるため、職場体験やイベントで自衛隊と綱引きや腕立て伏せ対決をしよう」という解決策を今回の職場体験で行い、楽しみながら皆で協力し合い自衛隊に親しみを感じてもらいました。

参加した生徒からは「ガイダンスや自衛隊との対決などとても楽しく取り組みました。」「職場体験を通して、災害に備えることの大切さや自助・共助・公助の大切さを学べました。」「この感想をいただきました。」「前橋募集案内所は引き続き学校からの要望に応えつつ、自衛隊の活動に対する理解と魅力を発信し募集基盤の拡充に努めていきます。」